2025年5月25日

ミライ地球ガチャ実施報告
～あだちNPOフェスティバルに出展～

ゼロ会

1.　ミライ地球ガチャの実施内容について

2024年11月16日(土)～17日(日)に2024あだちNPOフェスティバル（以下、Nフェスと略す）にて、ミライ地球ガチャブースを出展しました。Nフェスは、足立区で活動するNPO団体や協力企業が体験コーナーやワークショップなどのブースを出展するイベントで、2日間で多くの方が来場しました。その中で私たちゼロ会は、ミライ地球ガチャを実施しましたが、1日目はゼロ会と子ども食堂Happyの共同開催、2日目はゼロ会単独で実施しました。気候変動によって足立区での生活がどのように変わってしまうのか、足立区に住む私たちにできることは何かを考えてもらうため、各日程で以下の6つの質問を用意しました。

写真1:ミライ地球ガチャポスター

【1日目の質問内容】

(1)　暑（あつ）くて野菜（やさい）の元気　（げんき）　がなくなったら、足立区（あだちく）でどうする ？

(2)　暑（あつ）さで国産　（こくさん）のおいしいお米（こめ）がたべられなくなったら、足立区（あだちく）でどうする ？

(3)　あつくてリンゴが日焼（ひやけ）して茶色（ちゃいろ）くなったら、足立区（あだちく）でどうする ？

【2日目の質問内容】

(1)　夏（なつ）は　40°Cど以上いじょうの暑（あつ）　～い日ひが当(あ)たり前(まえ)になったら、どうする ？

(2)　毎年（まいとし）のように大（おお）きな台風（たいふう）がやってきたら、どうする ？

(3)　川（かわ）があふれるような大雨（おおあめ）が降（ふ）るようになったら、どうする ？

来場者の方にはガチャを1人1回、回してもらいました。ガチャの中には6つの質問の内のどれか1問が入っており、その質問について考えてもらいました。ガチャガチャが子どもたちを惹きつけて、参加者の多くが小学生以下のお子様でした。回答が難しい場合には保護者の方と一緒に考えてもらいました。両日とも10時から15時までの開催でしたが、ひっきりなしに来場者が訪れ、1日目は240枚、2日目は210枚の回答を集めることができました。

2.　ミライ地球ガチャを振り返って

自由な発想で回答してもらい、各質問に対して興味深い回答を多く得ることができました。今回のミライ地球ガラポンでは主に小学生とその保護者の方の回答を集めましたが、中学生や高校生、大学生、社会人など対象を変えて実施すると、また異なる視点での回答が得られるのではないかと思いました。ゼロ会では今後も様々な世代にアプローチして、足立区で気候アクションを起こしていきたいと思います。

写真2：ミライ地球ガチャ会場風景